



## リウマチ・膠原病・その他免疫系の疾患について

### 治療方法の紹介

私どもの専門とするリウマチ・膠原病・その他免疫系の関係する疾患群は、原因不明で、難病であると以前から言われ続けて来ました。確かに、今から50年前には全身性エリテマトーデスに罹患された患者様は、5年間に半分の方が亡くなっていました。しかしながら、現在においては10年間で亡くなるのは1割以下です。早期発見と、副腎皮質ステロイド剤および免疫抑制剤を用いた早期からの積極的治療法が確立されてきたからです。

関節リウマチは、鎮痛剤で痛みだけ抑えても関節の変形や破壊が進行する可能性が高い病気です。早期から積極的に抗リウマチ剤を服用いただき、日常生活機能が将来的に損なわれないようにすることが重要です。近年、生物製剤と呼ばれる画期的な治療薬が導入されるようになり、今まで以上に有効な治療成績が期待できるようになって来ました。抗リウマチ剤には重篤な副作用が出るとの報道もあります。確かに専門医が慎重に処方しないと危険な場合もありますが、早期に適切な対応を取れば多くの副作用は治癒可能なことも事実です。当科では、抗リウマチ生物製剤を含めた抗リウマチ治療に習熟した専門医が治療を担当しています。

目や口が渴いて苦しいシェーグレン症候群も以前には症状を改善する薬剤は殆どありませんでしたが、近年、新規薬剤が導入され症状の軽減に役立っております。

リウマチ・膠原病疾患においては、肺、腎臓、脳神経系、心臓、血管など全身の様々な臓器が障害されてくるような、極めて重篤な病態を来すことがあります。このような状態に対して、当科では病態に応じた積極的な治療を行い、他の専門診療科とも連絡を取り合うことで、良好な治療成績をあげております。

治療の有効性や治癒の可能性などまだまだと思われるかも知れませんが、医学は日一日と進歩しております。昨日よりは今日、今日よりは明日と治療法も改善されてきております。気を落とさずに、一緒により良い状態を作っていきます。そのためには、患者様やご家族の方たちの努力も必要です。積極的にご自分の病気を理解し、治療に取り組むことが重要です。

関節の痛みや腫れ、体のだるさ、微熱、目や口の渴きなどの症状が1ヶ月以上続いている方、また、流産を繰り返す方も膠原病に罹患している場合がありますので、一度当科外来を受診されることをお勧めします。その時には、前もってお近くの医師を受診され当科宛の紹介状をお持ちいただくと大変スムーズに当科外来を受診いただけます。